

転倒の数を少なくできたら、

入居者・職員・家族が

幸せ🍀になると思いませんか？

地域に住んでる高齢者の転倒発生率

10～30%

介護保険施設での年間転倒発生率

20～50%

(出典:日本転倒予防学会誌 Vol.2:介護老人保健施設入所者の転倒発生状況―移動手段に着目して―)

**転倒リスクの可視化、
してみませんか？**

- **ご利用は無料です**
- **個人情報の登録は不要です**
- **やることはシンプルです**

施設長
または
現場リーダー



各入居者の 転倒リスク 簡易診断 (5問)

所要時間
1分／1入居者



職員



アンケート回答

所要時間
10～20分

転倒リスク管理プログラム

手順(1) 入居者転倒リスク簡易診断情報入力

ささえるひとを、しあわせに。

CARENTS

施設



施設長
または
現場リーダー

① 各入居者の
転倒リスク
簡易診断情報を入
力(5問)

所要時間
1分程度／1入居者

B 入居者部屋番号&転倒リスク診断（5問）						
入居者 部屋番号		質問 (1) 過去一年間で、何回転びま したか？	質問 (2) 歩く速度が遅くなったと思 いますか？	質問 (3) 杖を使っていますか？	質問 (4) 背中が丸まってきまし たか？	質問 (5) 毎日お薬を5種類以上飲 んでいますか？
1	101 号室	1回	いいえ	いいえ	いいえ	はい
2	103 号室	2〜3回	はい	はい	いいえ	はい
3	104 号室	それ以上	はい	はい	いいえ	いいえ
4	105 号室	0回	はい	はい	いいえ	いいえ
5	106 号室	1回	いいえ	いいえ	はい	いいえ
6	107 号室	2〜3回	はい	いいえ	いいえ	はい
7	108 号室					

手順(2) 施設の各職員へのアンケート配布

ささえるひとを、しあわせに。

CARENTS

施設

職員

① アンケート(URL)を配布



施設長
または
現場リーダー

【転倒リスク管理プログラム】
職員様感度調査アンケート

【2】過去一年間の間に、転倒により病院に受診した入居者様をお教えてください。（※部署番号を入力）

1 人様：部署番号	101	部署
2 人様：部署番号	例:102	部署
3 人様：部署番号	例:103	部署
4 人様：部署番号	例:104	部署
5 人様：部署番号	例:105	部署
6 人様：部署番号	例:106	部署
7 人様：部署番号	例:107	部署
8 人様：部署番号	例:108	部署
9 人様：部署番号	例:109	部署

【3】過去一年間の間に転倒により病院に受診した、それぞれの入居者様についてお伺いします。転倒事故を起こした入居者様に、事前にリスクを感じていましたか？

(1) 部署番号 101 の方についてお伺いします

- ① 全く大丈夫だと考えており、突然転倒事故が発生した。
- ② ややリスクを感じていたが、すぐ転倒とは思っていなかったため過剰に注意している内に、転倒事故が起きてしまった。
- ③ 転倒ことは予測しており、しばしば気にかけていたが、転倒事故が起きてしまった。
- ④ かなりのリスクを感じており、厳密に見守っていたが、転倒事故が起きてしまった。
- ⑤ 大変強くリスクを感じていて、自慢から特に厳密に注意して見守っていたが、転倒事故が起きてしまった。

リスクを感じていた場合、具体的にどのようなリスクを感じていましたか？ 詳しく教えて下さい（自由入力項目）

例: 歩行が不確か、段差で滑りやすくなる。ゆっくり歩くように指導するが、あまり改善ができていなかった。

② 回答

所要時間
10～20分程度



職員

以上で、
転倒リスクの可視化の
準備完了です。

得られるもの(1) 職員アンケート集計結果

ささえるひとを、しあわせに。

CARENTS



① 自動集計
結果閲覧



施設長
または
現場リーダー



- ✓ 職員は転倒ケアに自信を持っているか？
- ✓ 職員がどの入居者が特に危ないと考えているか？
- ✓ 過去の転倒事故でどのようなリスクを感じていたか？

得られるもの(2) 転倒リスク対策検討表

ささえるひとを、しあわせに。

CARENTS



① 自動集計
結果閲覧



施設長
または
現場リーダー

【転倒リスク管理プログラム】
入居者様 転倒リスク対策検討表

① 転倒リスク度 (客観的な転倒リスク判定)
転倒リスク判定 (転倒の傾向 (客観的)) の結果に基づき、【転倒リスク度】が、「高」「中」「低」で表示されます。
リスク【高】入居者様：101 103 104 106 107 108 110 111 112 155

② 上記判定結果と、職員のアンケート調査結果とのギャップ
客観的による客観結果が「転倒リスク管理調査」結果と一致に示されます。
【転倒リスク度】が「高」に示されず、職員のアンケートにより上がっていない入居者様が、以下に表示されます。【要対策調査が必要です】
対策入居者様：110 111 112 155

③ 【介入優先度】
【転倒リスク度】と【転倒リスク管理調査】を総合的に判定し、介入優先度が算出されます。(ケアレンスの専門職が更に確認し、要治の日種で意味づけを添えて頂く入居者様を2層に分けます)

A 対策検討表									
介入優先度	リスク度	転倒リスク度	転倒(1) 客観的傾向 高・中・低	転倒(2) 客観的傾向 高・中・低	転倒(3) 客観的傾向 高・中・低	転倒(4) 客観的傾向 高・中・低	転倒(5) 客観的傾向 高・中・低	介入優先 度	介入優先 度
1	103 世	高	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世
2	101 世	高	1 世	1 世	1 世	1 世	1 世	1 世	1 世
3	104 世	高	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世
4	112 世	高	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世	2-3 世

- ✓ 各入居者はどのような転倒リスク傾向にあるか？
- ✓ どの入居者から転倒リスク管理を行うべきか？
- ✓ 職員の主観と、転倒スコアを使った客観指標とのギャップはどこに生じているか？

可視化された
リスク情報を、
転倒リスク対策の
ヒントとして
ご活用頂けます。

ケアレンツでは、様々な実績に基づき、以下オプションサービスをご用意しています。ご相談下さい。

- ・ PT/OT による訪問アセスメント
- ・ 職員講習会実施
- ・ 動画による遠隔診断



ささえるひとを、しあわせに。

CARENTS

<http://www.carents.co.jp/>